

サイバー空間の脅威の情勢：極めて深刻

ランサムウェアの感染が拡大

【情勢】
 ・令和2年下半年以降、右肩上がり増加中
 ・VPN機器等からの侵入が多数
 ・企業・団体等の規模や業種に関わらず広範囲に発生
 ・復旧に2か月以上の期間や5,000万円以上を要する被害も発生



【対策】
 ・機器等の脆弱性対策(パッチ等の適用)
 ・バックアップデータをオフラインで保管

インターネットバンキングに係る不正送金事案が増加

【情勢】
 ・発生件数、被害額が前年より増加
 ・被害の多くがフィッシングによるものとみられる

【対策(個人向け)】
 ・OS、ソフトウェア等の更新
 ・ワンタイムパスワード等の活用
 ・メール等のリンクは安易にクリックしない



【対策(企業向け)】
 ・DMARC(なりすましメール対策技術)の導入

令和六年二月号

やまがと



(0581)
 52-1110
 山県警察署
 乾駐在所

フィルタリングを設定しましょう!

被害児童のうち、**9割近く**がフィルタリングを未設定でした。

●『フィルタリング』は、子供に有害な情報を閲覧できなくするプログラムやサービスです。

被害から子供を守るため、フィルタリングの設定をしましょう。

[フィルタリングの詳細]

NTT docomo	au	SoftBank	Rakuten Mobile



ペアレンタルコントロール機能も利用しましょう!

ペアレンタルコントロール機能とは、**子供のインターネットの利用状況を把握したり安全管理を行ったりすることができる機能**です。

[ペアレンタルコントロール機能を利用できる主なサービス]

- | | |
|------------------------------------|-----------------------|
| 【端末】Android、iOS | 【SNS】Instagram、TikTok |
| 【ゲーム機器】Nintendo Switch、PlayStation | |



その事故、本当に立ち去って大丈夫?

こんなことはありませんか??

車を運転中、交差点に飛び出てきた自転車に乗る子供と接触し、子供に怪我がなさそうだったため「大丈夫?」と尋ねたところ、子供が「大丈夫」と答えたので、警察に通報せずに、事故現場を立ち去った。



- そのまま立ち去ってはダメ!!
- 必ず警察に届出を!!
- 「大丈夫=ケガなし」と勝手に判断しないでください。
- 相手が「大丈夫」と答えても、身体の痛みを覚え、後刻、診断書を警察に提出すれば、**救護義務違反(ひき逃げ)**になる場合があります。また、人身事故として過失運転致傷罪にも問われることとなります。
- 警察に事故を届けないことは、**報告義務違反(事故不申告)**に当たります!